

松江市の維持向上すべき歴史的風致

松江市には、古代出雲の繁栄を物語る豊富な遺跡群や、神々を祀る神社があり、出雲神話に因んだ祭礼が伝統的に行われています。また、松江城を中心として近世に形成された城下町が良く残り、茶の湯文化が息づくほか、鑿行列やホーランエンヤなどの伝統的な祭礼行事も行われ、一体となって良好な歴史的風致を形成しています。

「茶の湯文化に見られる歴史的風致」

松江の茶の湯文化は、松江藩松平家7代藩主治郷(不昧)の時代に基礎が築かれました。現在でも不昧公好みの茶室が残り、焼き物や和菓子などの伝統工芸・文化が今なお受け継がれています。



明々庵



梁山焼

「宍道湖、佐陀川に見られる歴史的風致」

宍道湖と、江戸時代に松江の町を水害から守るために開削された佐陀川では、美しい景観の中で今もシジミ漁が行われています。



宍道湖

「近世山陰道沿線の宿場町に見られる歴史的風致」

宍道町には、近世山陰道沿線に江戸時代に本陣とされた木幡家住宅と、当時の宿場町の町割りが残っています。毎年6月には蓮華祭の神輿行列が練り歩いて、かつての宿場町の繁栄を偲ばせています。



木幡家住宅



蓮華祭

「神在祭と佐陀神能に見られる歴史的風致」

出雲地方では、毎年旧暦の10月が「神在月」とされています。佐太神社では、古式ゆかしく「神在祭」が行われる他、出雲神楽の源流となった佐陀神能が受け継がれ、重要無形民俗文化財に指定されています。



佐太神社



佐陀神能

「堀川に見られる歴史的風致」

松江城の築城時に造られた堀川には、江戸時代から水運の要として機能していました。堀端では水運を利用した産業や、人々の生活が営まれ、酒造蔵や染物屋、堀に降りる石階に往時の風情が偲ばれます。



染物屋

「美保関のみなど文化に見られる歴史的風致」

美保関町には、美保神社を中心に、中世以降海運で栄えた町並みが良く残っており、国譲り神話に因んだ祭礼が今も受け継がれています。



美保神社



青柴垣神事



諸手船神事

「鑿行列に見られる歴史的風致」

鑿行列は、正月の左吉兆行事にルーツを持つ伝統行事です。旧城下町エリアには、33の保存団体があり、毎年秋には伝統的な町並みの中で鑿を叩きながら行列が練り歩いて城下町の風情を伝えています。



「ホーランエンヤに見られる歴史的風致」

ホーランエンヤは、城山稲荷神社の御神霊を船で阿太加夜神社へ運ぶ式年神幸祭です。大橋川で練り広げられる権伝馬踊りは、5つの地区で受け継がれ、松江市の文化財(無形民俗文化財)に指定されています。



「出雲国府跡周辺に見られる歴史的風致」

『出雲国風土記』に「神名種野」と記載のある、茶臼山の山麓には、条里制区画が残る田園風景が広がり、出雲国府跡などの遺跡群が保存されています。また、意宇六社と呼ばれる神社では、出雲国造家に縁のある伝統的な祭礼が受け継がれています。



出雲国府跡



神魂神社



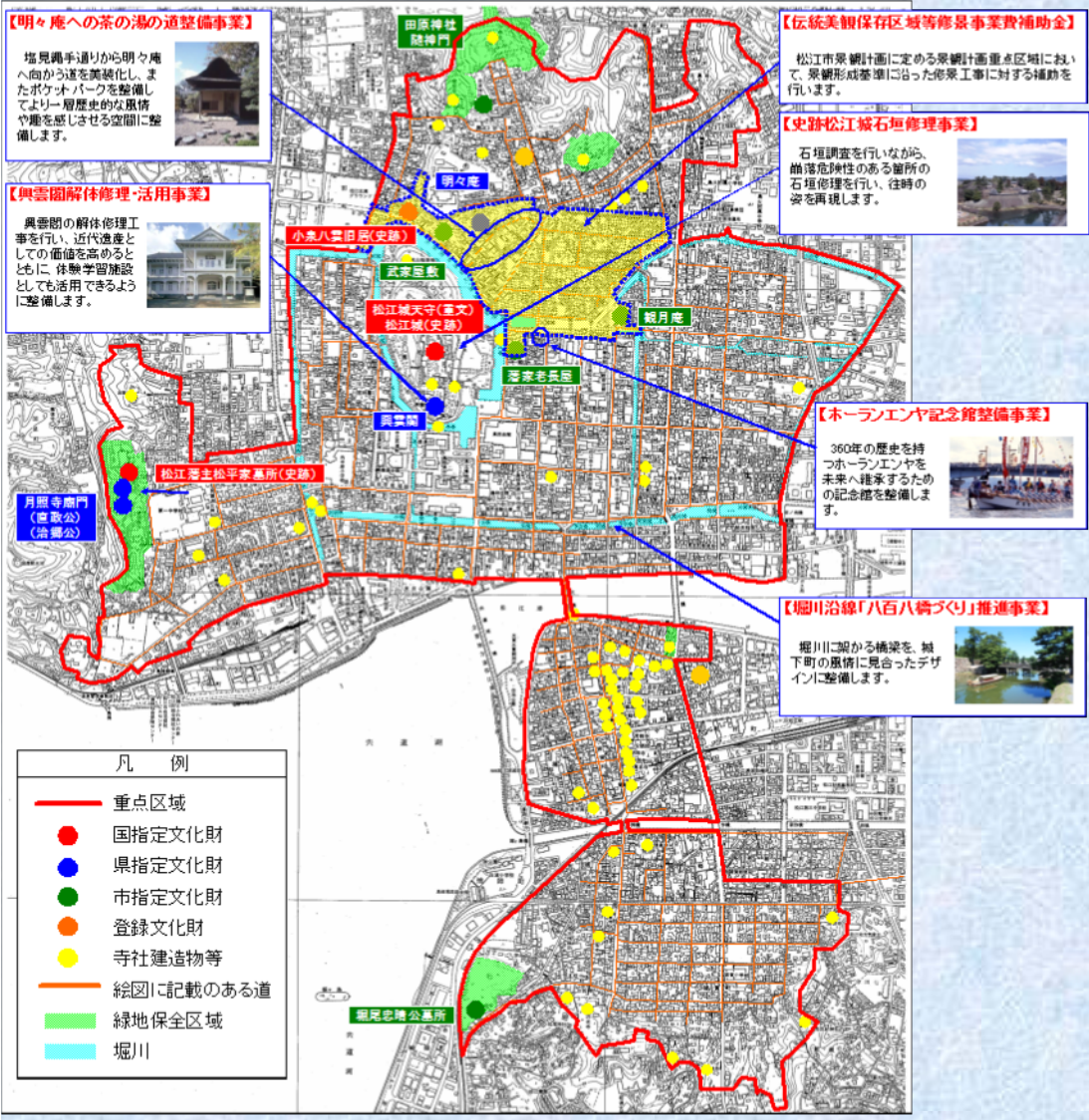
松江市の重点区域における施策・事業概要②

美保関エリア(約107.5ha)

みなと文化を物語る歴史的建造物や、町並みの保全、国譲り神話に因んだ祭礼等、人々の活動を維持向上させるエリアです。

旧城下町エリア(約400.1ha)

城下町「松江」を物語る歴史的建造物や、伝統的な町並みの保全と、伝統的な祭礼行事、茶の湯文化等の人々の活動を維持向上させるエリアです。



央道エリア(約17.8ha)

近世山陰道沿線に形成された宿場町に見られる歴史的建造物や伝統的な町並みの保全と、伝統的な祭礼等、人々の活動を維持向上させるエリアです。

